



# フォレスターうじ 会報

第283号  
令和4年9月1日発行  
森林ボランティア  
フォレスターうじ

ホームページ : <https://forester.foresteruji.org>

## 八月定例活動

二十五周年記念事業 トーテムポールの制作  
フォレスターうじの森の整備  
活動日 八月二十一日(日) 曇後一時雨  
活動時間 九時半〜十三時三十分  
活動場所 天ヶ瀬森林公園  
参加者 会員十四名  
京都府立大学森なかま一名

天気予報は午前中の雨の確率が高くて心配したが、深田会長の挨拶、松川参与から倒れた木での死亡事故報告があり、それからの学びとして今後はヘルメット装着をすること、事務局から連絡事項、点呼、安全十ヶ条の唱和、ラジオ体操の後、トーテムポールの制作に取りかかる。

リーダーの加地会員の号令の下、ノミと金槌であちこちからいい音が聞こえてくる。慣れない作業だが、間違つて彫り落としたなど、童心にかえて楽しい時間を過ごせた。久保田会員はトーテムポールのトップを飾るカワセミの翼とくちばしを制作、翼を青色に塗装までしてくれた。

広場のそばにふたつのトーテムポールの穴も掘り進められた。林副会長を中心に重機を使わず手掘りで行い、大変な作業ではあったが、ふたつのうちひとつは一m以上掘ることができ、ほぼめどが立った。

昼休憩の後、突然の雨、雷もなり、やむを得ず本日の作業は終了となる。なかなか思うように作業は進まないけど、今年度中に出来ればいいでしょう。完成を楽しみにしましょう。

なお、予定していたフォレスターうじの森の整備は雨のため、中止しました。

(記 藤原 洋子)



8/21 フォレスターうじ広場の横にトーテムポールを立てる穴を掘削中

8/21 トーテムポールの制作中

## エッセイ

感想(フォレスターうじの活動に参加して)

京都府立大学

森林ボランティアサークル森なかま

三回生 岩本 七海

まず、二十五周年おめでとうございます！自分が生まれる前からあるということを知って、凄いなあと思いました。この先も長く、ずっと続いてほしいと思います。

今回はその記念事業の一つである、トーテムポール製作に参加させていただきました。以前に別の人を作ったものの続きをすること、その妨害をしていないか少し不安ながらも楽しく彫らせていただきました。

ノミを使うことがあまりないので緊張しましたが、思っていたよりも上手く使うことができて嬉しかったです。作業前、自分の力では何も進まないんじゃないかと正直思っていました。終わってみると割と進めることができたのではないかと、少々達成感を得られました。

今回、森なかまからの参加者が一人で、自分の周りに同年代の者が居らず、それもまた緊張していましたが、フォレスターうじの皆様が気さくに話しかけてくださったおかげでそのような緊張は一瞬にして吹き飛んだように思われます。豊かな自然の中で、愉快な方たちと一緒に活動したりお話したりできたのが本当に楽しかったです、居心地も良かったです。

私は今回、一年一か月ぶりの活動参加となりました。一年一か月前にもこの感想を書いていたのがつい最近のことなのですが、今度は一年先ではなく、近いうちに活動参加できたかなと思っています。その時はまたよろしくお願ひいたします。この度はありがとうございました！

## エッセイ

トータムボールの完成に向けて

加地 富士夫

昨年より設立二十五周年記念に向け準備が進められ、記念モノユメント作成分科会（私も一員）では会員全員が参加しやすいトータムボールを作成することにした。打ち合わせの中で宇治市の鳥『カワセミ』を描く、全員参加で一人がひとつ何かを描く、A班B班で各一本ずつ作製するなどの案が出た。

実働は三月の特別活動からで、直径二十五cm、高さ約二十mのヒノキを除伐、長さ四mの丸太を二本造り、皮をむき、自然乾燥、五月に背割り、六月の定例活動で、各自描きたい鳥や顔の下図を持参した。その中で、久保田会員がデザインされたカワセミが大変好評で、シンボルとして二本のトップを飾ることになった。

作業中は慣れない手つきでノミや彫刻刀を使い、無心で彫っている人やら苦戦している人やらと、賑やかで楽しい活動となった。

友好団体の京都府立大学森林ボランティアサークル「森なかま」の皆様方にもお手伝いしていただいた。若い方が入ると華やいだ雰囲気になり、活動にも活気が出てくる。

トータムボールは四mのうち地中に一m埋めるのだが、岩があつた場合人力で掘れるかと思案していたら、林副会長よりミニショベルを使用する案など、色々メーイルで教えていただいた時は大変心強く感じた。試し掘りにより人力で掘れる目処もつき、十一月頃から着色をして来年初めには完成をと目標にしている。

多くの方の御協力によりこれまで進めてこられましたこと、大変感謝しています。コロナの影響もあり密な状態での作業は出来ないため、スケジュールの遅れもあります。事故もなく完成させ、フオレスターうじのシンボルとなるよう、願うばかりです。

## エッセイ

雑木林の保全を考える

林 幸広

日本は面積の六十七%が森林で、その内、人工林が四割、原生林が五%、残りが天然林と言われている。天然林とは、伐採など人の手が加わったとしても自然の力で更新している森林のことで、里山の雑木林などのことだ。昔は木を伐採しても、切り株から芽がでて（萌芽更新）たくさん出る“ひこぼ”は太いものを残して刈り取って（柴刈り）燃料にし、森林が若返る循環がうまくできていた。

しかし、近年は鹿の食害で“ひこぼ”だけでなく実生の幼木や下草も食べられて、高木や鹿の食べない木が残り、林床の乏しい土がむき出しの森林になっている。こうなると雨を保水できなくなり土と一緒に流れ出てしまう。野鳥観察小屋付近はその影響が出ている場所であろう。本来の元気な雑木林にしていくことが雑木林の保全と思う。

元気な雑木林に必要なのは、光と水と養分（土）だ。水と養分は自然のもので賄えるので、雑木林の中に光を届けて萌芽を促し、それを鹿から守ることが雑木林の保全につながると思う。コナラは二十年生ぐらいまでは萌芽更新が盛んだが、四十年生ぐらいになると萌芽しなくなるので、適宜伐採して薪炭やホダギに活用して若返りを促す方がよいようだ。切り株からでた芽や、間伐でできた空間に多くでる実生の芽は鹿の好物なので、しっかりと保護する必要がある。既に流されたところは丸太などで土留して植樹し、これを囲うことで鹿から守って大きく育て、自然の植生を復活させたいものだ。

## 今後の活動・行事の案内

令和四年十月以降の予定です。当月の定例活動の詳細は、「活動案内」でお知らせします。

十月定例活動

十月十六日（日）天ヶ瀬森林公園

・森の音楽会

・二十五周年記念事業の継続

十月特別活動

十月二十二日（土）宇治橋通り商店街

・宇治橋通りわんさかフェスタに協力

「フオレスターうじと一緒に樹木で遊ぼう」

## フオレスターうじからのお報せ

天ヶ瀬森林公園で、森林での活動を通じてその楽しさを一緒に味わってみませんか？ 新しい仲間を募集しています。先ずは一日体験から参加して下さい。

入会金 千円 年会費 二千円

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

森林ボランティア フオレスターうじ

事務局

宇治市折居台二丁目一―五

木曾 宗統 方

TEL 〇九〇―九二七〇―〇七六三



ホームページはこちらから

## 編集後記

八月の活動日は昼から大雨、天気予報がよく当たった。でも異常気象が異常でなく当たり前前になってしまった。えらいことです。

（会報担当 木曾 宗統）

（写真担当 田中 一夫）

